

障害者雇用3000人を達成

和田 かずのり
一紀さん(47)



障害者の就労支援を目的に企業向け貸農園事業を手がける「エスプールプラス」(東京都千代田区)が十月末で、障害者雇用三千人、参画企業五百社を達成した。開設した農園を、障害者の雇用を希望する企業側に貸し出すビジネスで、創業十三年目の「偉業」達成は決して平坦な道のみではなかった。

「私のビジネス人生は成功体験より失敗体験でした」と語る。リ

この人

クルートに入社後、三十一歳でハワイのフリーパーを運営する米国企業に副社長で経営参画。帰国後、全財産を投じた事業は失敗して無一文に。その時、知り合った起業家から貸農園事業を任せられたが、立ち上げ当初は全く相手にされなかった。

「障害者が作った野菜を従業員
の福利厚生に使ってみたい」。企業の責任者が漏らした言葉が転機となった。創業期の二〇一一年当時、最低賃金の報酬を得ている障害者は二十人に一人。企業も障害者雇用率未達成の悩みを抱える。

「障害がある方、参画企業、私たちの会社の三者が幸せになるビジネスを目指す。激動の時代を生き抜くビジネスマンを育てたい」。大阪府出身。

(吉原康和)